

# ウイルス感染の疑いがある場合、1339(外国人は1345)でまずは相談を

## 新型コロナウイルスの疑わしい症状発生時についての行動要領

韓国の防疫当局と医療専門家は、新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合、疾病管理本部コールセンター(市外局番なしで1339)や外国人総合案内センター(1345)、地域の保健所にまず連絡し、検査を勧告された場合は積極的に応じる事を呼びかけている。また過度な疑いや根拠のない恐怖は、感染の遮断と予防にかえてマイナスになると注意喚起を行っている。

新型コロナウイルス感染症の予防に、最も重要なのが手洗いだ。水とせっけんで何度も丁寧に洗い、洗っていない手で目、鼻、口を触らないようにする。せきをするときには服のすそで口と鼻を覆い、人の多い場所に行かないようにする。全ての人にマスクの着用が求められるが、特に高齢者や妊婦、糖尿病や高血圧などの持病がある人は、外出の際に必ずマスクを着用する。

### ■正しいマスクのつけ方

韓国の食品医薬品安全処と大韓医師協会は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)予防のため、1月29日に発表された世界保健機関(WHO)の勧告事項を参考にマスクの着用方法を提示した。

マスク着用時はまず手を石けんと水で洗うか、アルコール入りの消毒剤で手を消毒し、マスクが汚染されないようにする。マスクは固定用の芯が入っている部分が上になるように取り出し、あごのほうから鼻に向けて伸ばした後、鼻と口を完全に覆い隠す。両手の指で芯の部分を鼻に密着させ、顔とマスクの間に隙間ができないように注意する。タオルやティッシュをマスクの内部に重ねると密着力が落ち、性能も低下する。

使い捨てマスクは一度使用した後、再利



感染症予防にまずは手洗い、マスクの着用だ。

用せず捨てる。使用したマスクを捨てる時は、端の部分をつまんで2回折り、四つ折りにする。さらにひもの部分で結んで殺菌剤を吹きかけるのが望ましい。殺菌剤がな

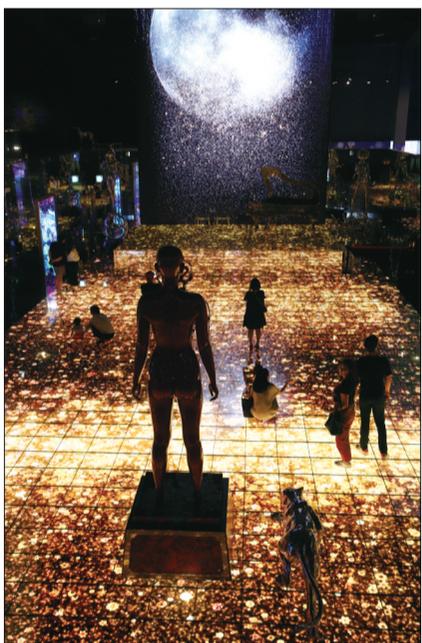
い場合は、ポリ袋に密封してゴミ袋に捨てる。マスクを捨てた後は顔などを触らず、必ず手を洗う。

※資料提供・疾病管理本部

写真提供・imagetoday

## あなたをきらびやかな映像芸術の世界へ

韓国最大のメディアアート美術館「ミュージアムダ」で映える写真を撮ろう！



「ミュージアムダ」の「완전한 세상(ワンジョンサンセサン)」を鑑賞中の観覧客。

釜山広域市海雲台(ヘウンデ)区センタムシティの「映画の殿堂」近くにある韓国最大のメディアアート美術館「ミュージアムダ」では、誰でも映像世界の主人公になった気分が味わえる。最近では会員制交流サイト(SNS)用の写真撮影スポットとして人気を集めており、写真共有アプリ「インスタグラム」への関連投稿は1万4000件を超える。

同館は昨年8月にオープンした。超高画質を実現できる約8100万個の発光ダイオード(LED)が床や天井、壁などに設置されており、美しい映像と音楽が楽しめる。現在展示中の「완전한 세상(ワンジョンサンセサン=完全

な世界)」は、美術館を生活空間である「家」に見立て、玄関や廊下、リビング、トイレ、台所、寝室など家を構成する各空間が持つ意味をメディアアートで表現している。

広さ約820㎡の別の展示場では、四方八方に幻想的な映像が映し出されている。レオナルド・ダ・ヴィンチ作「モナ・リザ」やゴッホ作「ひまわり」、グスタフ・クリムト作「接吻(せつぷん)」など、世界的な名画をアレンジした映像に加え、赤、黄、青の鮮やかな色彩の花模様を展示場全体に映すことで、巨大なファンタジーと魔法の空間を生み出している。室内に設置された彫刻作品

「守護者」と「見つめる」とも調和し、より幻想的な雰囲気演出している。

昨年8月の開館に合わせて始まった「完全な世界」は好評につき、期間を設けず展示中だ。観覧時間は約2時間で、入場料は1万8000ウォン(約1800円)。作品を含めて自由に写真撮影できる。運営時間は月～金曜日が午前10時～午後7時、土・日曜日は午前10時～午後8時。

アクセス：釜山都市鉄道2号線センタムシティ駅6番出口を出て、約300m直進。横断歩道を渡り、さらに徒歩で左方向に150mほど進むと、右側にある。

## 大学生のインターン活動で韓日間の交流を活発に

釜慶大・AIE-九州、1月の海外現場実習に取り組む…九州地域13社が学生15人を受け入れ



釜慶大の学生が、九州地域の企業でインターンシッププログラムを修了した(写真は2月3日に行われたプログラム修了式の様子)。

写真提供・釜慶大

韓日関係が冷え込む中、釜山地域の大学生が九州地域の企業でインターン活動を行った。海外就職・研修を支援する釜慶(プギョン)大学の組織「リンクプラス事業団」と日本の「地域企業連合会九州連携機構(AIE-九州)」は2月3日、福岡市で「ワイドブリッジ(WIDE-BRIDGE)海外現場実習」プログラム修了式を実施した。

同プログラムは日本の企業が韓国の若者の可能性を見定めるきっかけにしておらうと2018年に始まり、今年で3回目を迎えた。両団体が連携して釜慶大生を日本企業に派遣。学生はインターン生として職場の雰囲気を体感できる上、就職のチャンスも

ある。釜慶大は韓国国内での各種インターンシップやプログラムで成績が優秀だった学生を選定。選ばれた学生に各自の専攻と関連のあるAIE-九州所属の企業で実習してもらうシステムを構築した。

今年は釜慶大のリンクプラス事業団と工学教育革新センターから選ばれた15名の学生が参加。1月6日から4週間、AIE-九州所属の13社で現場実習を行った。

同プログラムは日本の現地企業での現場実習を通して実務能力を養いながら、言語や文化、ビジネスマナーなど日本で働く社会人として必要な教育も受けられるため、学生の間でも人気が高い。実際に2018年に同プログラムに参加した学生が、福岡市のホテル「グランドハイアット福岡」の採用試験に合格するなど、高い成果を挙げている。